

# 携帯電話電波塔設置工事はじまる

## 供用開始は4月にずれ込む予定

吉川区の地域事業として今年度に予定されていた携帯電話電波塔整備事業の工事がこのほどはじまりました。

今年度市予算に計上されているのは勝穂地区と泉谷地区の一部、及び川谷地区の携帯電話利用不可能地域解消のための2基です。電波などの調査結果に基づき、前者は市道入連坊線の一番高い所に、後者は石谷と下川谷の中間地点に建設することが決まっています。

今回、工事を受注したのはNECネットワークスアイ株式会社。入連坊の電波塔は約3050万円、川谷地区の電波塔は約3877万円（いずれも消費税込み）で、請け負いました。このうち、川谷地区の電波塔は、周辺の山々が秋色に染まりつつある中、基礎工事がはじめられました（写真）。11月1日の作業開始の時には、施工業者の幹部や吉川区総合事務所の関係職員なども作業状況を見るために立ち会いました。これらの工事は来年の3月中旬までが工期ですが、手続きの関係もあって、供用開始は4月



にずれ込む見込みだということです。今回の工事が終わると、吉川区内の携帯電話利用不可能地域はぐんと少なくなりそうです。しかし、一部に電波状況が悪い地域も残されることから、それらをどうするかが今後の課題となります。

## 神社・祠等の復旧も支援メニューに入れてください

### 市復興対策本部に申入れ

財団法人中越沖地震復興基金が10月17日設立されました。同時に、被災者の生活の根幹に関わる第1段階の支援事業として、被災者生活再建支援事業及び住宅再建支援事業等に関する26の支援メニューが発表されました。

私は先の9月議会一般質問でも復興基金の活用を重視し、積極的に支援メニューの提案などを行うよう主張してきました。今後追加メニューが発表されていくものと思いますが、3

0日、市災害復興対策本部に対して、神社・祠などの復旧についても支援メニューに加えるよう復興基金に働きかけてほしいと申し入れました。柿崎区、吉川区などで被災したところが多く、多額の復旧費用が必要となっているからです。

## 農業と食の今と未来を語りあいませんか

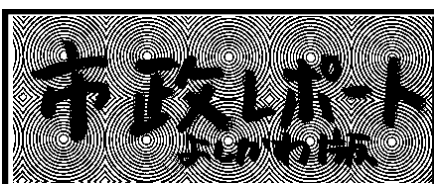
米価暴落などの深刻な事態が起きているなか、農業政策をめぐって政治が大きく動こうとしています。日本共産党中央委員会の農漁民部長、有坂哲夫氏を迎えて語り合います。ぜひご参加ください。（入場無料）

日時：11月11日（日）午後2時。  
ところ：頸城区希望館 福祉棟  
主催：日本共産党上越地区委員会

中越地震復興基金の場合、昨年になって、支援メニューとして追加された経過があります。地域・集落等のコミュニティの場として長年利用されている鎮守・神社・堂・祠の復旧を行う集落又は自治会等に行われて復旧事業費の4分の3以内の補助が行われています。復旧済みのものでもさかのぼって適用しています。中越沖地震の場合でも、こうした措置はぜひともとってほしいですね。



【アキノキリンソウ】平地でも山間部でも黄色い花がきれいです。



NO 1319  
2007.11.4

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一  
TEL 548-3628 (有線) 4867  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hose1.jp/